

令和8年度

事業計画

学校法人 高知学園

目 次

(ページ)

I 学校法人	1
II 高知学園短期大学附属高知幼稚園	10
III 高知小学校	12
IV 高知中学校	16
V 高知高等学校	20
VI 高知学園大学	24
VII 高知学園短期大学	26
VIII 高知リハビリテーション専門職大学	30

(設置学校の入学定員※1、募集定員※2、所在地)

令和8年4月1日予定

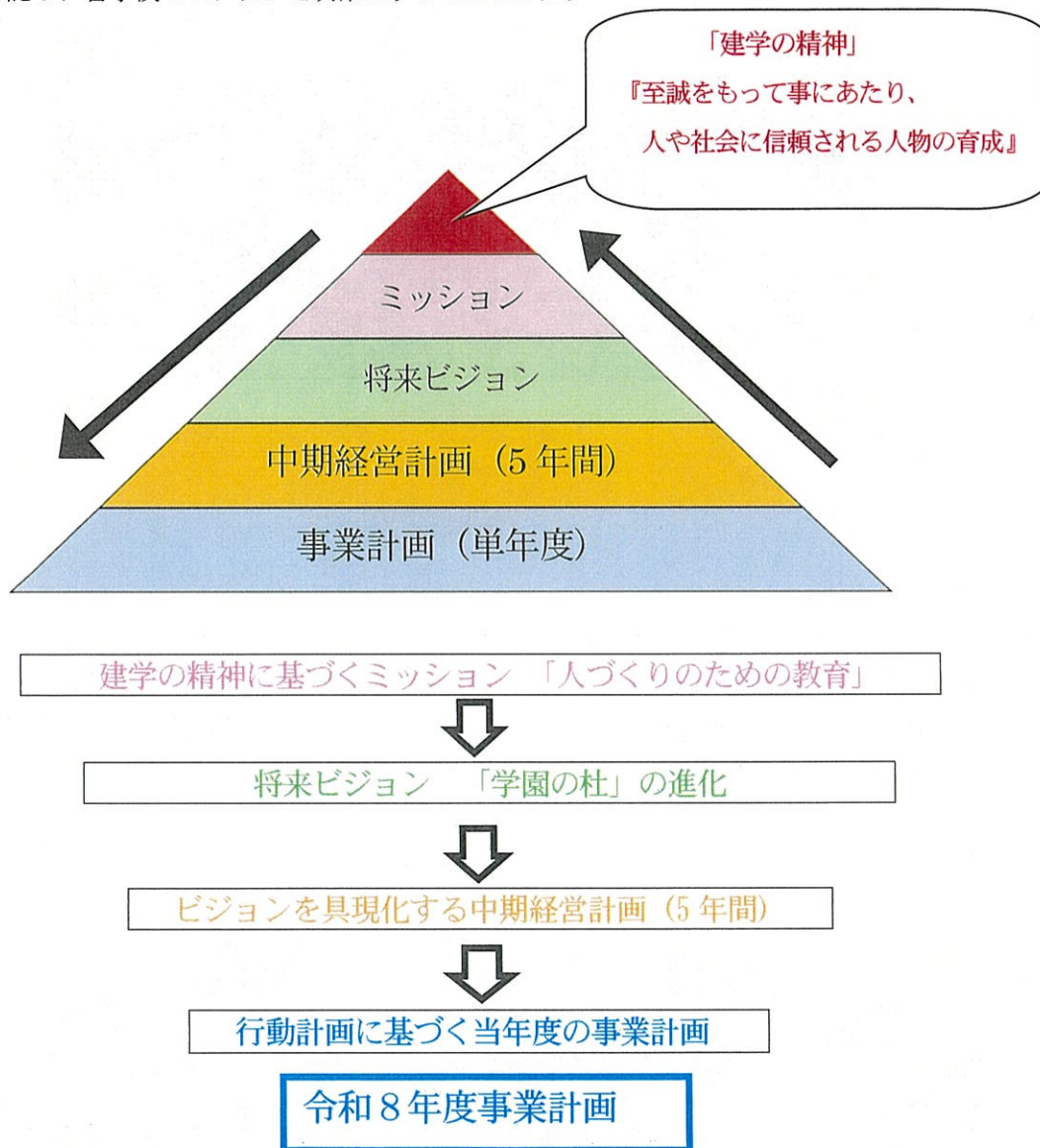
法人・学校名	学 科 等	入学定員 (名)	募集定員 (名)	住 所
学校法人		—	—	高知市北端町 100
高知学園大学	健康科学部	130	130	高知市旭天神町 292-26
	管理栄養学科	(70)	(70)	
	臨床検査学科	(60)	(60)	
	小 計	130	130	
高知リハビリ テーション専 門職大学	リハビリテーション学部	150	150	土佐市高岡町乙 1139-3
	理学療法学専攻	(70)	(70)	
	作業療法学専攻	(40)	(40)	
	言語聴覚学専攻	(40)	(40)	
	小 計	150	150	
高知学園短期 大学	幼児保育学科	80	80	高知市旭天神町 292-26
	歯科衛生生学科	40	40	
	看護学科	60	60	
	専攻科	25	25	
	地域看護学専攻	(25)	(25)	
	小 計	205	205	
高知高等学校	全日制普通科	420	220	高知市北端町 100
高知中学校		330	120	高知市北端町 100
高知小学校		80	64	高知市北端町 100
高知学園短期 大学附属高知 幼稚園		40	20	高知市北端町 100
高知学園短期 大学附属認可 外保育所		15	10	高知市北端町 100
	合 計	1,370	919	

※1 入学定員は学則（園則）に定める定員

※2 募集定員は学校経営上の目標とする定員

II 学校法人の事業計画

少子化の進展や経済の縮小など、学校運営を取り巻く環境は大変厳しい状況にあり、その中で本法人の直近5ヵ年決算の経常収支差額は支出超過が続いており、極めて厳しい経営状況である。令和7年度にスタートした中期経営計画（令7～令11）は、「建学の精神」を再確認し、各学校のビジョンを明確にすることとした。

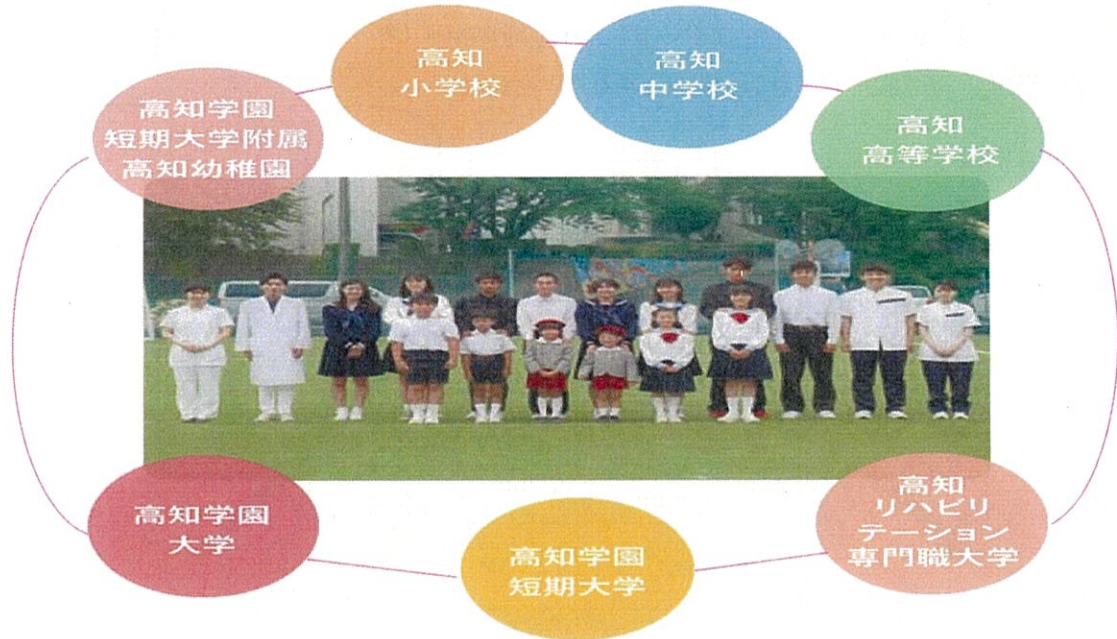


※色彩設計について

- 「建学の精神」 : 学園カラーの臙脂（えんじ）色
- 「ミッション」 : 愛ある人づくりのピンク
- 「将来ビジョン」 : 「杜の緑」、安心安全の意味から「世界の鐘」平和への願いも込めて
- 「中期経営計画」 : 「楽しそうな橙」入園から就職まで信頼される学校経営を
- 「当年度事業計画」 : 「至誠の青」教職員も至誠をもって事業計画の遂行・達成を

■建学の精神 「至誠をもって事にあたり、人や社会に信頼される人物の育成」

■ミッション 「学生・生徒たちを中心にした学校づくり・人づくり」



■ビジョン 「学園の杜」の進化

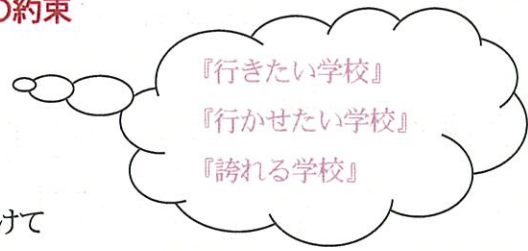
高知学園は、幼稚園から大学まで、この旭ヶ丘「学園の杜」で成長・発展してきた。

豊かな自然・地域と共生しながら、これからも安心・安全な教育環境下で「学園の杜」を進化させ、多様な人財を育てていく。



高知学園のビジョンを実現するための3つの約束

- (1) 学生・生徒ファースト
- (2) 保護者の信頼
- (3) 教職員への感謝



実現に向けて

令和8年度の方針

学生・生徒たちが飛ばたくための『未来への挑戦』
 ～ ①連携・②改革・③魅力化 ～



各学校の令和
8年度事業計画
達成に向けて



創立者・初代学園長の想いを受けて

創立者：信清権馬 初代学園長：川島源司

高知学園の教育のシンボル



世界の鐘

この鐘の音のとどろくところ
 永遠の真理と希望にかがやき
 世界の平和と友愛にみつ

(由来) 昭和32年3月、現地の旭ヶ丘に学園校舎が移転された時、本学園教育の象徴としてつねに精神的な拠り所となり、永久に心の中に生きるものと考え、「世界の平和と友愛」の願いをこめて、世界25ヶ国85校のハイスクールからその国の銅貨の寄贈を仰ぎ、それを鑄込んでできたのがこの世界の鐘である。(平成17年11月に再建し二代目)

学園歌(校歌)

作詞 橋詰 泰二
 作曲 平井康三郎

黒潮かおる 自由の土佐に
 萌えたつ緑の 鷲尾嶺こえて
 世界の鐘が とどろき渡る
 平和の光と 友愛こめて
 雲はるか 若き日の夢
 われらの声よ 遠く行け

わだつみ水邊に 流れてやまぬ
 潮はめぐる 夜明けの風に
 ゆかしく揺れて 咲くたちはなの
 かおりは日ごとに 青葉ときそい
 緑こき あこがれの地よ
 旭ヶ丘の 空に満つ

世紀の歴史 あらたにうけて
 新生日本の 若さと力
 寄せ来る試験 見事に堪えて
 輝く日の国 南の国に
 開きゆく まことの世界
 高知学園 わが母校

※歌詞は「川島源司伝」(昭和五十五年第三巻)による

(注) 歌詞の1番「鷲尾嶺」は、作詞者の橋詰先生は「鷲尾根」と表記している

当年度の事業計画（令和8年度）

学校名	ミッション（基本方針）	重点目標
学校法人	健全経営の実現（基本金組入前当年度収支の均衡）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行制度の見直しや業務の改善を通じて、学校法人の重点施策8項目を実践
高知学園短期大学 附属高知幼稚園	自ら気づき、考え、判断して行動する自発的な子どもを育てる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の資質向上の取組 ・ 総合学園を生かした幼児教育の取組 ・ 防災教育の充実
高知小学校	「紳士・淑女」に育つ学校づくりに邁進 → 魅力ある学校づくり（公立学校との差別化）の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の高い規範意識と指導力の向上 ・ 英語教育と情報教育の深化 ・ 学内連携の促進
高知中学校	基礎となる学力と、考え学ぶ基本姿勢を育てる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 至誠プログラムを基盤として基本的な礼節を身につけ、学びや学校生活の土台を形成 ・ NIE 活動等を通じて論理的に考える力の基礎を育成 ・ テーマ学習ノートを活用した探求的な学びへの導入
高知高等学校	生徒が自ら考え、協働し、多様な進路を切り拓く力を育てる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高知キャリア入試等を含む多様な進路選択を見据え、生徒一人ひとりの成長を支える ・ BYOD の活用を含む ICT 教育の推進 ・ 英検協会等との連携による実践的で魅力ある英語学習の充実
高知学園大学 高知学園短期大学	地域に根差したエッセンシャルワーカーの養成と持続可能な経営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高知県、市町村において必要とされる大学と認知されるための活動 ・ 組織の強化と法人内連携 ・ 2030 年の大学・短大のあり方についての検討
高知リハビリテーション専門職大学	多様な分野で多職種と連携・協働して将来を切り開いていける国際的なセラピストの育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 統合推進プロジェクトチームの設置 ・ 適切な財務運営を確立するため、入学者数の確保と人件費・経費削減への取組 ・ 地域住民の健康寿命の延伸や健康増進、三つのサポートセンターの取組



令和8年度事業計画の実行

以上の状況を踏まえ、令和 8 年度の学校法人基本方針として以下の 8 点の重点実施項目を掲げて事業を行う。

【令和 8 年度学校法人基本方針の重点実施項目】

- ① 健全経営（財務の改善）
- ② 定員確保
- ③ 学校間連携の強化
- ④ 私学法改正を踏まえたガバナンス強化と内部統制システムの整備
- ⑤ コンプライアンスの徹底
- ⑥ ICT化、デジタル化の推進
- ⑦ 総合学園の「教育の柱」として英語教育の充実
- ⑧ 中期経営計画の実行（令和 7 年度～令和 11 年度 5 ヶ年計画）

【重点施策】

- ① 健全経営（財務の改善）
 - ・各学校とも、まずは募集定員の確保を目指す。
 - ・人件費比率と経常収支差額の改善に取り組む。
 - ・将来構想委員会の検討結果を踏まえ、具体的方策の決定に取り組む。
- ② 定員確保
 - ・学生生徒に選ばれる学校を目指す。
 - ・募集活動、広報活動の強化をはかる。（DXなどを活用した差別化の取り組み等）
 - ・教育の質向上への取り組みと特色・魅力づくりを進める。
- ③ 学校間連携の強化
 - ・各学校の連携（高大連携、幼小中高連携等）強化をはかる。
 - ・県内唯一の総合学園として、高知学園しかできない連携教育（英語教育等）を推進する。
 - ・学園内の内部進学制度など、幼稚園から大学までの縦の連携を意識した取り組みを進める。
- ④ 私学法改正を踏まえたガバナンスの強化と内部統制システムの整備
 - ・私立学校法が改正され（令 7. 4. 1 施行）、私立学校を経営する学校法人にはガバナンス改革が求められているため、ガバナンスのあり方を見つめ直し、体制の構築を目指す。
 - ・指揮命令系統の統一性のための組織規程を遵守した業務運営に努める。
 - ・職務権限を明確にする。
 - ・監事の業務監査及び三様監査（監事、会計監査人、内部監査）の充実をはかる。
 - ・私学法改正を踏まえた内部統制システムの構築と規程等の運用に取り組む。

⑤ コンプライアンスの徹底

- ・ 寄附行為及び規程を遵守し、確固たる倫理観をもって事業活動を行う。
(不祥事を起こさない。)
- ・ 法令遵守だけでなく社会的な規範に従い、風通しの良い、働きやすい職場をつくる。
- ・ 各学校主催や本部主催でのコンプライアンス研修を継続実施する。
(パワハラ、セクハラ等を起こさない。)
- ・ 発生事案の迅速な対応と再発防止策の徹底に努める。
- ・ 内部通報制度、外部相談窓口の周知・徹底をはかる。

⑥ ICT化、デジタル化の推進

- ・ 各学校におけるICTを活用した教務、校務事務改善への支援を行う。
- ・ 各学校の専門人財と本部人財と連携して課題解決に取り組む。
- ・ 事務の削減等について、出来ることからICT化に取り組む。
(7年度は、幼稚園事務のICT化を実行済み。8年度は事務手続きの簡素化を進める。)

⑦ 総合学園の「教育の柱」として英語教育の充実

- ・ 英語教育の充実のため、日本英語検定協会との包括連携協定(幼稚園から大学までの全学連携)締結を進める。
- ・ 英検試験のAIシステム(教材)導入モデル校として申込を検討する。
- ・ 昨年度に引き続き、英語教育の充実を総合学園の共通のテーマとして掲げ、全学で連携して取り組む。

⑧ 中期経営計画の実行(令和7年度～令和11年度5ヵ年計画)

- ・ 令和7年度にスタートした中期経営計画(令7～令11)の進捗を確認し実行を進める。
- ・ 中期経営計画を学校法人の健全経営の柱とする。
- ・ 中期経営計画のもとに各学校が毎年度の事業計画を策定する。
- ・ 各学校が具体的施策を策定の上実行し、PDCAを回していく。

Ⅲ 各学校の事業計画

令和8年度 事業計画 (学校名: 高知学園短期大学附属高知幼稚園)

(1)基本方針、重点目標、教育研究計画

- ①「のびのび」が育つ幼稚園として、自ら気づき、考え、判断して行動することのできる「生きる力」の基礎を養い、心身ともに健康でたくましい子どもを育てる
- ②教職員の資質向上の取組
 - ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を常に意識して教育にあたる
 - ・年間一人1回の園内研究授業の実施
 - ・園長・主任等研修会、初任者研修会、夏季研修会、四国研修会等に参加する
- ③小学校入学に向けての学びの準備を行う
- ④総合学園を生かした幼児教育の取組
 - ・小学校との連携の充実(幼小交流プログラムの実施、小学校教員による硬筆教室・造形教室の実施)
 - ・短大との連携の充実: 歯磨き指導・健康教育、教育実習や看護実習の実施
 - ・高知リハビリテーション専門職大学との連携の充実: 園児のリハ大訪問
 - ・英語教育の充実: 外国人教員を招いてネイティブの英語にふれる機会を設ける
- ⑤防災教育の充実
 - ・月1回、園児の避難訓練(水害・地震・火災)の実施
 - ・危機管理の情報の共有と対応の強化

(2)入口戦略(園児募集計画)

- ①園庭開放の充実(毎週水曜日10:00～11:30)と事後連絡の強化
- ②体験入園説明会の実施(年間4回実施)
- ③入園児確保のための効果的な募集活動の強化
 - ・ホームページのリニューアルや SNS の積極的な活用、ブログでの情報発信強化
 - ・ポスティングによるチラシ配布
 - ・課外活動の充実: 硬筆教室、造形教室、英語であそぼう(保育時間内)
学研教室、ピアノ教室、サッカー教室(保育時間外)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
5月1日園児数	92	74	77	68 + α 予定
年度末園児数	101	85	86 + α	

(3) 出口戦略(進路指導)

①高知小学校と積極的に連携し、高知小学校への進学率を高めるための取り組みを進める

- ・幼小交流プログラムの実施
 - 小学校の授業への参加:英語、生活科
 - 幼小合同でのサツマイモの苗植え付けと収穫、焼芋パーティの実施
- ・小学校のプールと人工芝のグラウンド使用
- ・小学校の学校通信「たちばな」の全家庭への配布
- ・小学校から幼稚園保護者への学校説明会の開催

②高知小学校への進学率

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
卒園児数	39	22	23
高知小進学者数	13	10	14
進学率	33%	45%	61%

(4) その他

①人事計画

- ・本務教員7名、兼務教員7名、兼務職員4名、 計18名

②安心・安全対策

- ・感染症(新型コロナ、インフルエンザ、RS ウィルス、マイコプラズマ肺炎、溶連菌等)予防対策の徹底(マスク・手洗い・うがい・手指消毒)と職員の知識習得の励行
- ・職場におけるコンプライアンスの徹底と職員研修の実施
- ・園バスの安全管理(安全管理マニュアルの徹底)

③高知中学・高校との交流(中学3年生の家庭科演習、高校生による夏休みのボランティア活動の実施)

④認定こども園への移行に向けた取り組みを進める

令和8年度 事業計画 (学校名: 高知小学校)

(1) 基本方針、重点目標、教育研究計画

◎「紳士・淑女」に育つ学校づくりに邁進する。⇒ 魅力ある学校づくり(公立学校との差別化)の推進。
(職員の高い規範意識と指導力、英語教育・情報教育(AI活用・プログラミング等)の深化、アフタースクールの充実)

① 教職員の高い規範意識と指導力の向上

- ・コンプライアンス研修の実施⇒每学期1回の研修(講師招聘研修を含む)を行う。
- ・研究授業の実施⇒年間一人1回の研究授業及び研究協議を行う。
- ・情報教育分野等で先進的な取り組みを実践する学校を視察訪問する。
- ・学級経営力の向上⇒Q-U アンケートを年2回実施するとともにアセスメントシートの活用とSCとの面談を行う。
⇒「君のこと教えてシート」を活用し全児童と担任が面談を行う。

② 英語教育の深化

- ・会話力向上に生かす AI 型アプリの試験導入⇒新5年生に導入し、R9年度からの本格実施の検討を行う。
- ・英語辞書引き大会の奨励⇒上級生対象に年1回の大会を開催し、表彰する。
- ・英語検定試験の受験奨励
- ・英語のアウトプット活動の奨励⇒台湾慈済大小学部との交流や来高インバウンド客の観光案内などを行う。
- ・「Global Studies Program」の実施((株)ISA 主催)
⇒多国籍の留学生と夏休みに2日間英語のみで交流を行う。(4・5年生対象、希望制、費用参加者負担)

③ 情報教育の深化

- ・次期学習指導要領の改訂を踏まえ、情報活用能力(AIの活用を含む)の育成計画を作成する。
- ・プログラミング教育推進のため、教材・教具等を充実させるとともに、全クラス週1回の授業を実施する。
- ・児童のプレゼンテーション力やコミュニケーション力の向上を目指し、全校朝礼での代表者によるプレゼンの実施やクラス内の教科学習の中でプレゼン発表を行う。

④ 学内連携の促進

- ・総合学園の良さを児童・教職員が実感するため、児童の学習活動及び教職員の研修の機会において、各専門分野の先生の指導・支援の協力を要請する。
- ・内部進学制度の確立のもと、制度の広報に努めるとともに内部進学者を増やしていく。

(2) 入口戦略(学生募集)

※募集定員(64名)確保を目指す。

① 現在籍児童の保護者の満足度増

- ・安心安全な学級経営と丁寧な対応と体制を提供するため、コンプライアンス研修や危機管理研修を実施する。
- ・参観日には、必ず英語やICT関連授業、専科による授業を設定し、本校の特色を積極的に発信していく。
- ・確かな学力の定着と向上を図るため、定期的な小テストの実施やキュービナ(AI型学習教材)の活用を推進する。

② 高知幼稚園からの入学者増

- ・内部進学制度を含め、学校説明会を1学期中に開催する。
- ・接続架け橋期(幼から小へ)のプログラムを共有し、児童間・教員間の交流を促進していく。
- ・合同避難訓練など、同一敷地内としてできる活動を行う。

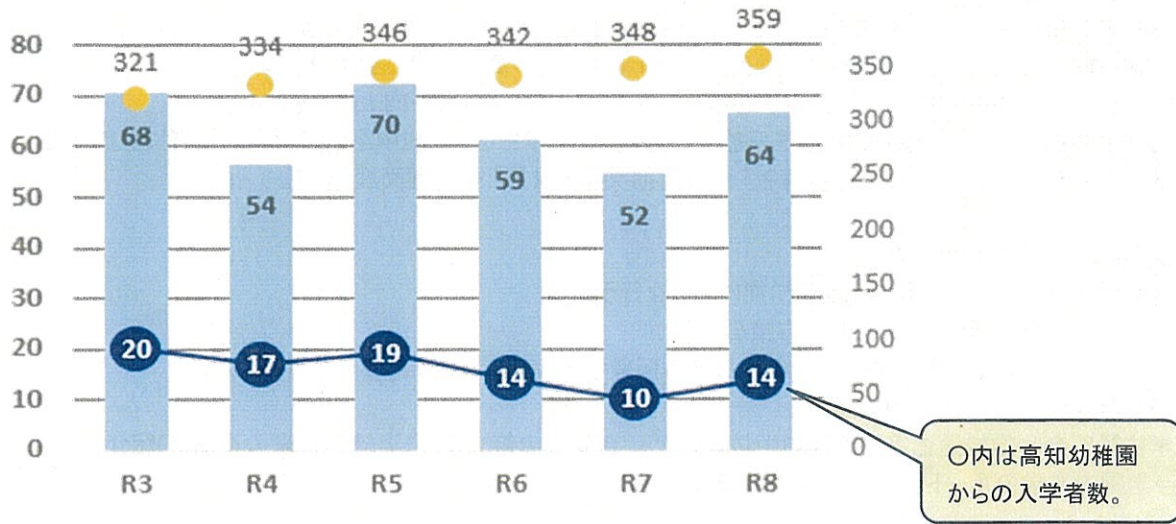
③ アフタースクールの充実

- ・学童保育、放課後補習、習い事教室の中身の充実を図るとともに、新たな事業の展開を模索していく。
- ・オープンスクールや幼稚園訪問の際などに、本校の特色として、アフタースクールの良さをアピールしていく。

④ 効果的・効率的な宣伝を行う。

- ・地道に年2回の園訪問(約120園)と、指定園(22園)等のピンポイントでの園訪問を行う。
- ・高知幼稚園以外の園とも児童間の交流を進める。(学習発表会への参加案内など)※R7は2園と交流実績あり
- ・オープンスクール、トライスクール、見学会での英語授業やICT活用の参観や模擬体験を実施する。また、参加者へ、後日他の企画案内をするなど後追い宣伝活動を行っていく。
- ・園長等対象の幼保交歓会や学校見学会(授業見学等)の機会を増やし案内する。
- ・インスタグラム等 SNS を積極的に活用していく。
- ・合唱部の活動を各種イベントにて広く紹介する。
- ・各種コンクール(こども県展等)への積極的に参加し、その実績を紹介していく。
- ・検定(英語・漢字・算数)会場として検定を実施し、その実績を紹介していく。

〈児童数・入学者数の推移〉



〈令和8年度合格者出身園別人数〉

所在地	園名	人数	備考
高知市	高知幼稚園	14	内部園
高知市	ひまわり	7	
南国市	にしん幼稚舎	5	指定園
高知市	みかづき幼稚園	4	
高知市	若草幼稚園	4	
高知市	丑之助学園	3	指定園
高知市	高知聖母幼稚園	2	指定園
高知市	ちより保育園	2	
高知市	やえもん幼稚学園	2	指定園
高知市	あたご幼稚園	2	
高知市	聖泉幼稚園	1	
南国市	あとむ	1	
高知市	芸術学園幼稚園	1	指定園
高知市	長浜保育園	1	
高知市	清和幼稚園	1	
高知市	瀬戸東保育園	1	
高知市	江陽保育園	1	
高知市	一宮幼稚園	1	
高知市	鏡川保育園	1	
高知市	あゆみ保育園	1	
高知市	みさと幼稚園	1	指定園
高知市	丸の内保育園	1	
高知市	朝倉中央保育園	1	
高知市	一ツ橋保育園	1	
高知市	旭保育園	1	
高知市	清和幼稚園みどりの丘	1	
四万十町	たのの	1	
いの町	神谷保育園	1	
香南市	香我美幼稚園	1	
計		64	

(3) 出口戦略(進路指導)

① 希望する中学校への学力・進路保障

- ・基礎基本の徹底⇒全校漢字・全校計算を年間12回実施し基礎基本の徹底を図る。
- ・STEAM教育の推進を核としながら知的好奇心を刺激する質の高い授業・活動を行う。
- ・作文教育の充実や高知新聞「読もっか」への投稿などを通して、書く力を向上させる。
- ・長期休業中(夏休み・冬休み)の補習を実施する。特に5・6年生は、高知中学校の受験を視野に実施する。
- ・私学テスト(5年生:国算、6年生:国算社理)の定期実施と校長との個別面談を実施する。

② 内部(高知中)進学者の増加

- ・保護者に対し内部進学制度の説明を学期に1回は行う。
- ・小中連携会の定期開催と課題・改善方策の協議
⇒相互授業参観や中学教員による小学校での授業など、教科間での連携を促進していく。
- ・高知中学校(入試)説明会の実施
- ・小学校説明会や学校通信等での高知中学校及び総合学園の魅力(連携実績や将来の進路等)紹介
⇒学園内進学のルートづくりについて協議していく。

〈内部進学者数と進学先一覧〉

	R3	R4	R5	R6	R7	
卒業生数	40	58	55	44	53	
高知中進学者	8	15	16	4	14	
進学率	20%	26%	29%	9%	26%	
進学先	土佐中	13	18	11	14	16
	学芸中	3	6	14	11	10
	土佐塾中	4	7	3	7	5
	県外私立(海外含)	3	3	5	3	4

※進学先は一部を表示しています。

※令和7年度は、R8.1月現在の進学希望先を表示しています。

(4) その他(人事計画等)

① 人事計画

・本務教員 17名 ・兼務教員 17名 ・本務職員 1名 ・兼務職員 4名

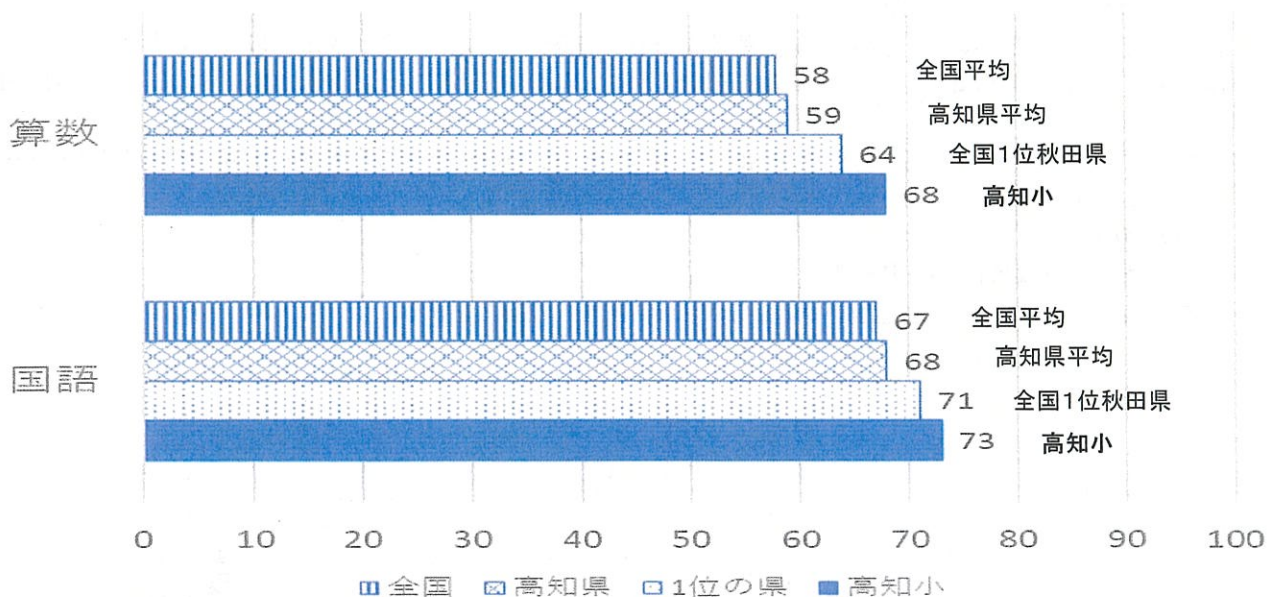
② 創立 70 周年記念事業の実施

- ・運動会を春野体育館で開催(R8.6.6):天候(雨、気温等)・駐車場の心配なし。
- ・学習発表会を県民文化ホールにて開催(R8.10.30):児童・保護者の同時観覧可能。他園等への案内可能。
- ・記念式典及び祝賀会開催(R8.11.6):城西館にて開催予定。
- ・その他、高知小学校校友会並びに PTA 本部役員と協議し事業の内容を決定していく。

③ その他

- ・R8年度より放課後児童クラブの利用料金を値上げする。(約2割増…月額基本料金 8,100 円→10,000 円へ)
- ・R8年度入学生より授業料(28,000 円→33,000 円)、入学金(60,000 円→100,000 円)の値上げを行う。
- ・R9 年度より、全児童の ICT 機器利用料を値上げする予定である(年間 12,000 円→24,000 円)
- ・タブレット端末の個人購入の方向性について、令和7年度中に結論を出し次年度募集要項に反映する。

令和7年度全国学力学習状況調査結果



算数・国語ともに
全国1位県(国:秋田、
算:東京)を上回って
いる。

令和8年度 事業計画 （学校名：高知中学校）

(1)基本方針、重点目標、教育研究計画

①基本方針：高知学園の建学の精神「至誠をもって事にあたり、人や社会に信頼される人物の育成」

- ・学校生活の三原則：「正しい身なり」「挨拶の励行」「清掃の徹底」
- ・教育目標：たくましい心とからだ、確かな学力、豊かな情操、信頼される人間、自立

②学校経営推進体制の強化

- ・未来共創会議において、テーマ別のワーキングを行い中長期的な戦略を策定する
- ・アドミッションオフィス(AO)を、各種調査・分析を踏まえた戦略的な生徒確保対策と魅力ある学校づくりを推進する機能として位置付ける

③教育活動の視点(生徒受入れ・学び・育成)

- ・基礎学力と考え学ぶ基本姿勢の定着を重視し、授業及び家庭学習を通じて学習習慣の確立を図る
- ・基本的な礼節を身につけさせ、論理的に考えて表現する力を育成する
- ・探究的観点からの学びを充実させ、考える力の基盤を育てる

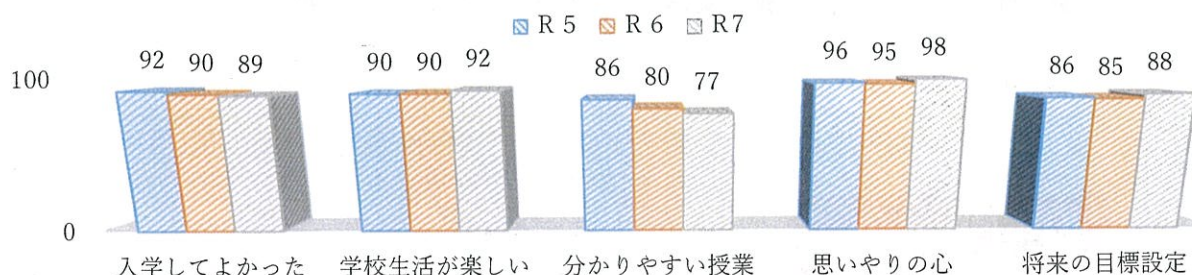
④重点目標：基礎となる学力と、考え学ぶ基本姿勢を育てる学校づくり

- ・教員の資質・指導力の向上を図り、授業の質を高めることで、学びの充実と学力向上に繋げる
- ・基本的な生活習慣及び学習習慣の定着を図り、学びに向かう土台を確立する
- ・授業や体験的な学習を通じて、問いを持ち、考え、表現できる生徒を育成する
- ・安心して過ごせる学校生活の中で、自信を持って成長できる生徒を育成する
- ・地域の取組(「よさこい」等)を題材に、中高の連携を生かした探究的な学びの充実を図る

⑤教育研究計画：基礎となる学びの確立と探究的な学びへの導入

- ・中高一貫教育の出発点として、高等学校での学びや進路選択に繋がる学習基盤を形成する
- ・校内での授業研究、ICTの活用を通じて、指導方法の改善と授業力の向上を継続的に進める
- 「至誠プログラム」を基盤とした取組
- ・礼法(道徳)「至誠」への第一歩を通じて、基本的な礼節を身につけ、学びや学校生活の土台を形成する
- ・NIE活動「ことばの力育成プログラム」等を通じて、読む・考える・表現する活動を重ね、論理的に考える力の基礎を育成する
- ・学びマイプラン「テーマ学習ノート」を活用し、自ら問いを立て、調べ、まとめる学習を行うことで、探究的な学びへの導入を図る
- 「英語教育の充実」
- ・英語に親しみ、基礎的な力を育成する
- ・検定試験等を活用し、学習到達度を把握しながら、学習意欲の向上を図る

中学校 学校評価 (単位：%)



(2) 入口戦略(生徒募集)

① 生徒受入れの基本的な考え方

- ・学習や学校生活に前向きに取り組もうとする生徒を受け入れる
- ・小学校段階で培われた生活習慣や学習への姿勢を基盤とし、中学校段階での成長を丁寧に支える

② 募集目標と学校規模

- ・安定した学校運営を見据え、1学年120人規模の生徒募集を行う
- ・高知小学校からの内部進学を推進するとともに、本校の教育方針に沿った生徒を受け入れる
- ・女子生徒の入学促進や、部活動に意欲的に取り組む生徒の受け入れについても引き続き検討する

③ 学校の特色・強みの発信

- ・中高一貫教育の出発点としての役割を明確にし、高等学校での学びに繋がる進路の見通しを丁寧に示す
- ・基礎学力の定着を重視した学習指導と、考える力を育てる授業の取組を発信する
- ・学校生活や行事、部活動等を通じた生徒の成長の様子を分かりやすく伝える
- ・アドミッションオフィス(AO)による志願動向分析や中高接続の視点を踏まえ、本校の学びの価値と進路の見通しを一体的に発信する
- ・生徒の活動成果や学校の実績の可視化、表彰・称賛の充実を通じて、本校の特色と魅力の発信を強化する

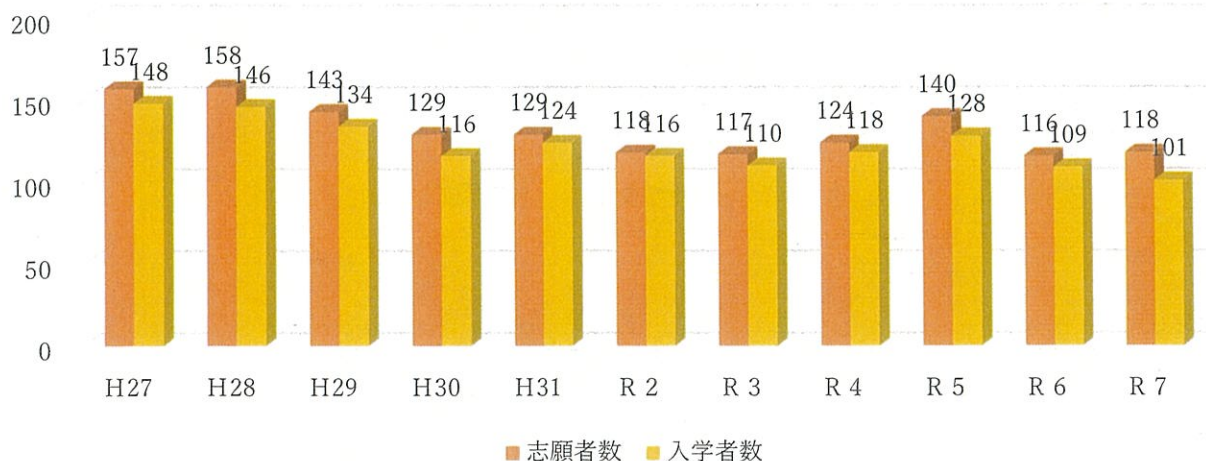
④ 説明会・広報活動の充実

- ・配布資料を工夫するとともに、本校の魅力と教育内容への理解を広める
- ・高知小学校の保護者に対しては、中学校段階での学びや成長のイメージを具体的に伝える
- ・私立中高合同フェアのほか、学校の魅力と特色を広く発信する機会を幅広く捉え、県内全域の小中学校に教育内容や魅力ある部活動を周知する
- ・アドミッションオフィス(AO)との連携により、小学校・地域への情報発信の質を高めるとともに、中高一貫教育の魅力が効果的に伝わる説明機会を拡充する

⑤ 入試説明・情報提供の工夫

- ・入試説明会では、特進コース(中高一貫)の特徴や出口戦略を分かりやすく説明する
- ・進路実績や学校生活の様子を紹介し、入学後の姿が具体的にイメージできるように工夫する
- ・SNSを効果的に活用し、在校生の活動紹介や声、学校の雰囲気や学びの実態を伝える

中学入学者推移



(3) 出口戦略(進路指導)

① 学習・生活の土台形成を通じた進路指導

- ・基礎学力の定着と家庭学習の習慣化を進め、学びに向かう姿勢を育てる
- ・日常の指導を通じて、自己管理能力や継続して努力する態度を養う
- ・高等学校卒業時を見据え、中学校段階で身に付けるべき力を意識した進路指導を行う

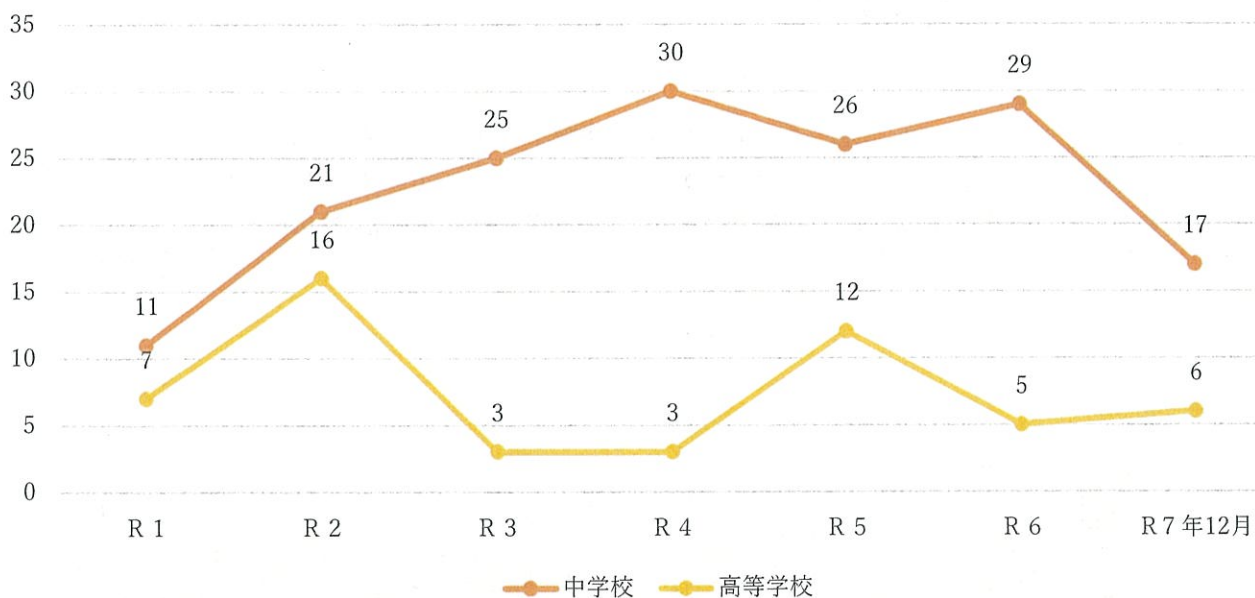
② 将来の進路に対する意識の醸成

- ・中学1、2年生で基礎を固め、中学3年生段階において進路に対する意識調査や面談を実施し、将来像を考える機会を設ける
- ・大学キャンパス訪問や講話等への参加を通じ、学びの広がりを体感させる
- ・法人内大学等から出前講座を中学校段階まで拡大し、学びそのものへの理解を深める機会を提供する

③ 中高一貫教育を踏まえた進路支援

- ・中高一貫教育の出発点として、高等学校での学びや進路選択につながる指導を行う
- ・特進コースの中高接続を見据え、高等学校と連携した指導を進める
- ・生徒一人ひとりの特性や志向を踏まえ、適切な進路選択に繋がる支援を行う

不登校件数



(4) その他(人事計画等)

①推進体制の整備

- ・学校運営及び教育改革を円滑に進めるため、管理職の意思決定を実務面から支え、施策の具体化及び推進を担う体制を整備する
- ・管理職の職務を補佐しつつ、企画・調整・実行を担う役割を明確にし、管理職と一体となって学校運営を推進する体制の構築を図る
- ・戦略的な判断と実務の推進及び進捗管理を担う役割を明確化する

②迅速かつ明確な意思決定プロセスの確立

- ・管理職間の役割分担を整理し、意思決定に至るまでの検討・整理・判断の流れを明確化する
- ・実践段階での検討から情報整理及び意思決定まで戦略的視点を持って推進する体制を整え、学校経営において管理職による迅速な意思決定が可能となる仕組みづくりを進める
- ・決定事項については、決定の背景や趣旨を含めて適切に共有し、現場の理解と納得を得られる運営を行う

③戦略を支える情報発信・募集体制の強化

- ・学校改革の方向性や教育の特色が的確に伝わるよう、広報機能の強化と情報発信体制の充実を図る
- ・生徒募集に関わる業務については、学校全体で一貫性をもって対応できる体制を整え、小学校、関係機関との連携を円滑に進める
- ・アドミッションオフィス(AO)を中核とし、志願動向の分析や小中高大の連携を踏まえ、情報発信と募集体制を一貫して強化する

④教職員配置・働き方の見直し

- ・学校規模や教育課程に見合った教職員配置を行い、業務の適正化と役割分担の明確化を進める
- ・ICTの活用等により校務の効率化を図り、教育活動及び進路指導に注力できる環境整備を行う
- ・多様な教育的ニーズを踏まえ、不登校を経験した生徒への支援体制を強化し、学校全体で継続的に支える仕組みづくりを進める

⑤教育活動を支える環境整備

- ・生徒募集や進路指導に直結する施設・環境について、学校の教育活動を支える観点から、必要な整備を計画的に進める
- ・リスクマネジメント(未然防止)とクライシス・マネジメント(緊急時対応・事後対応)の両輪で、学校で起こりうる様々な危機(事故・災害・不祥事等)を予測・予防し、発生時には迅速かつ適切に対応して被害を最小限に抑え、教育活動の継続と安全な環境を保証していく

⑥その他

- ・上記①から⑤の取組を踏まえ、事業計画の実現に向けて、従来の取組にとられない新たな視点や発想を取り入れながら、課題解決や改善に向けた方策について、「未来共創会議」等の場を活用して継続的に協議する
- ・計画の推進にあたっては、学校法人基本方針を踏まえ、取組の進捗を確認し、必要に応じて改善を図る

(1)基本方針、重点目標、教育研究計画

① 基本方針:高知学園の建学の精神「至誠をもって事にあたり、人や社会に信頼される人物の育成」

- ・学校生活の三原則:「正しい身なり」「挨拶の励行」「清掃の徹底」
- ・教育目標:たくましい心とからだ、確かな学力、豊かな情操、信頼される人間、自立

②学校経営推進体制の強化

- ・未来共創会議において、テーマ別のワーキングを行い中長期的な戦略を策定する
- ・アドミッションオフィス(AO)を、各種調査・分析を踏まえた戦略的な生徒確保対策と魅力ある学校づくりを推進する機能として位置付ける

③教育活動の視点

- ・学習や学校生活に意欲的に取り組み、自らの目標に向けて努力する姿勢を持つ生徒を受け入れる
- ・高知キャリア入試を柱の一つとして、学力進学、スポーツを生かした進学等、多様な努力の在り方を尊重する
- ・基礎学力の定着を土台とし、思考力・判断力・表現力を育てる学びを提供する
- ・ICTや探究的な学習を通じて、主体的に学ぶ姿勢を育成する
- ・部活動や学校行事を含む学校生活全体を通じて、他者と関わりながら成長する力を育てる
- ・スポーツ活動においても、人格形成及び多様な進路選択に繋がる教育活動として位置づける

④重点目標:生徒が自ら考え、協働し、多様な進路を切り拓く力を育てる学校づくり

- ・教員の資質・指導力の向上を図り、授業の質を高めることで、学びの充実と学力向上に繋げる
- ・基礎学力を身につけるとともに、主体的に学び、考え続ける姿勢を育てる
- ・探究的な学習や学校生活を通じて、他者と協力しながら課題に向き合う力を育成する
- ・キャリア志向の学び、学力進学、スポーツ進学等の多様な進路選択を見据え、生徒一人ひとりの成長を支える
- ・学校生活全体を通じて、自己理解を深め、自らの将来性を主体的に選択できる力を育む
- ・地域の取組(「よさこい」等)を題材に、中高の連携を生かした探究的な学びの充実を図る

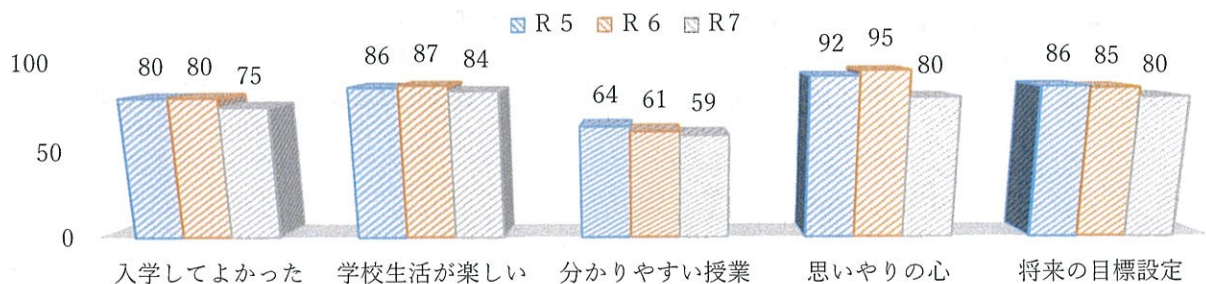
⑤教育計画:学びの充実と進路に繋がる教育(英語教育の充実を含む)

- ・BYODの活用を含むICT教育の推進
(教職員のICT活用スキルの向上を図り、授業改善や授業内容の充実に関与)
- ・基礎学力の定着による探究的な学びや授業改善
- ・生徒の目的に応じた3コースの教育内容の充実
- ・国公立大学や難関私立大学への挑戦など、生徒一人ひとりの目標達成の支援

【重点項目】英語教育の充実

- ・英検等を活用した英語力の可視化と、英検協会等との連携による実践的で魅力ある英語学習の充実
- ・進学・就職の双方を見据えた、実社会で活用できる英語力の育成

高等学校 学校評価 (単位: %)



(2) 入口戦略(生徒募集)

① 生徒受け入れの基本的な考え方

- ・学習や学校生活に意欲的に取り組もうとする生徒を受け入れる
- ・学力、スポーツ、高知キャリア入試など、多様な努力の在り方を生かす

② 募集目標と学校規模

- ・安定した学校運営を見据え、1学年220人規模を目標とした生徒募集を行う
- ・特進コースは、中高一貫教育として位置付ける

③ 学校の特色・強みの発信

- ・考える力を育てる学び、多様な進路実現(スポーツ進学を含む)、学校生活の魅力を積極的に発信する
- ・法人大学との連携による学びや進路の広がりについても、わかりやすく伝える
- ・広報については、学校の特色、強みのわかるメッセージ(キャッチコピー)を一貫して発信する
- ・アドミッションオフィス(AO)による調査・分析を踏まえ、学びの価値や多様な進路実現の可能性をより効果的に発信する
- ・生徒の活動成果や学校の実績の可視化、表彰・称賛の充実を通じて、本校の特色と魅力の発信を強化する

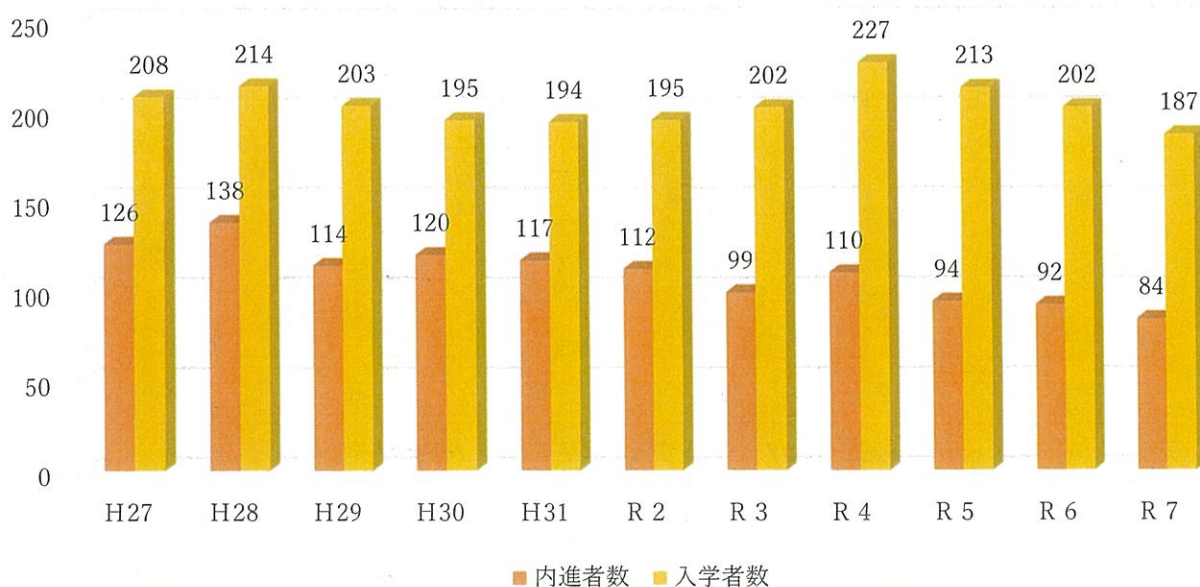
④ オープンスクール、学校説明会の拡充

- ・オープンスクールや学校説明会について、対象を広げるとともに実施回数を増やし、参加機会の拡充を図る
- ・授業体験、部活動体験、高知キャリア入試の説明等を通じ、本校の教育内容や魅力を分かりやすく伝える
- ・文化祭等の学校行事を活用し、学校の雰囲気や生徒の主体的な活動の様子を体感できる機会を設ける
- ・アドミッションオフィス(AO)との連携により、志願者層に応じた説明内容の最適化や多様なプログラムの見える化を進め、本校の魅力を的確に伝える

⑤ 中学校・関係機関との連携

- ・中学校及び関係機関に対し、説明会や情報共有を通じて本校の教育内容や進路支援の特色への理解を深める
- ・特進コースについては、中高一貫教育としての位置づけや到達イメージを、中学校段階から適切に共有する

高校入学者数



(3) 出口戦略(進路指導)

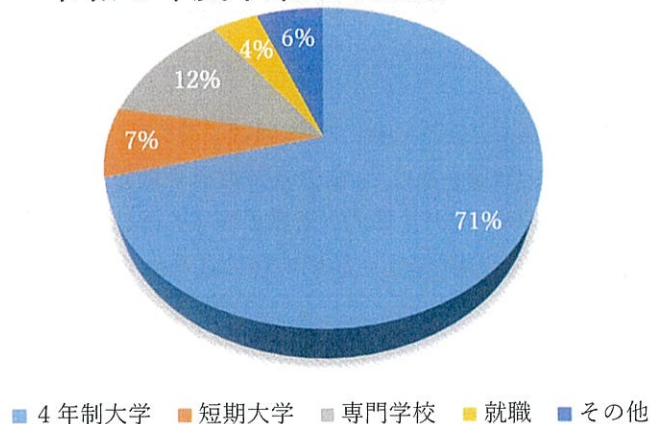
① 進路実現に向けた段階的な進路指導

- ・生徒一人ひとりが自身の特性や進路志向を踏まえ、主体的に進路を選択・決定できるよう計画的な進路指導を実施する
- ・日常的な学習指導や面談を通じ、進路意識の形成から具体的な進路決定までを段階的に支援する
- ・担任、進路担当、部活動顧問が連携し、学業・部活動方面から進路実現を支える体制を整備する

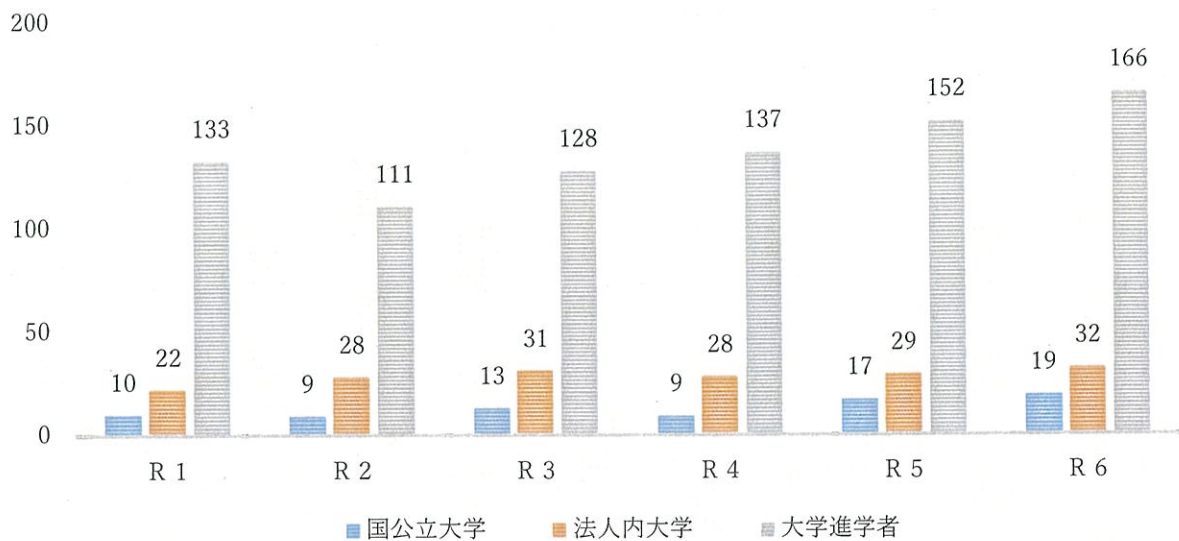
② 高大連携を生かした進路支援の充実

- ・法人内大学との連携を生かし、高大連携プログラムを体系的に実施する
- ・高大連携の日(仮称)や多様な出前講座を通じ、大学での学びや研究分野に触れる機会を増やし、生徒が将来像を具体的に描けるよう支援する
- ・APプログラム等の取組を活用し、高大接続に具体的に繋がる取組を行う
- ・高校・大学間での情報共有を進め、生徒の進路選択や入学後の学びを見据えた連携体制を強化する

令和6年度卒業生の進路



大学進学状況



(4)その他(人事計画等)

①推進体制の整備

- ・学校運営及び教育改革を円滑に進めるため、管理職の意思決定を実務面から支え、施策の具体化及び推進を担う体制を整備する
- ・管理職の職務を補佐しつつ、企画・調整・実行を担う役割を明確にし、管理職と一体となって学校運営を推進する体制の構築を図る
- ・戦略的な判断と実務の推進及び進捗管理を担う役割を明確化する

②迅速かつ明確な意思決定プロセスの確立

- ・管理職間の役割分担を整理し、意思決定に至るまでの検討・整理・判断の流れを明確化する
- ・実践段階での検討から情報整理及び意思決定まで戦略的視点を持って推進する体制を整えるとともに、学校経営において管理職による迅速な意思決定が可能となる仕組みづくりを進める
- ・決定事項については、決定の背景や趣旨を含めて適切に共有し、現場の理解と納得を得られる運営を行う

③戦略を支える情報発信・募集体制の強化

- ・学校改革の方向性や教育の特色が的確に伝わるよう、広報機能の強化と情報発信体制の充実を図る
- ・生徒募集に関わる業務については、学校全体で一貫性をもって対応できる体制を整え、中学校、関係機関との連携を円滑に進める
- ・アドミッションオフィス(AO)を中核に、志願動向の分析と小中高大の連携を統合し、情報発信と募集体制を一貫して強化する

④教職員配置・働き方の見直し

- ・学校規模や教育課程に見合った教職員配置を行い、業務の適正化と役割分担の明確化を進める
- ・ICTの活用等により校務の効率化を図り、教育活動及び進路指導に注力できる環境整備を行う

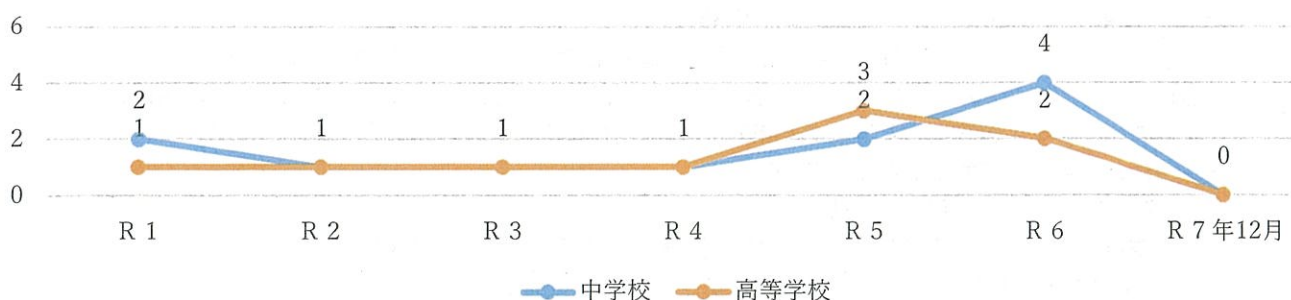
⑤教育活動を支える環境整備

- ・生徒募集や進路指導に直結する施設・環境について、学校の教育活動を支える観点から、必要な整備を計画的に進める
- ・多様な教育ニーズを踏まえ、学びの継続に不安を抱える生徒にも対応し得る柔軟な学びの受け入れ環境の具体化を段階的に進める
- ・リスクマネジメント(未然防止)とクライシス・マネジメント(緊急時対応・事後対応)の両輪で学校で起こりうる様々な危機(事故・災害・不祥事等)を予測・予防し、発生時には迅速かつ適切に対応して被害を最小限に抑え、教育活動の継続と安全な環境を保証していく

⑥その他

- ・上記①から⑤の取組を踏まえ、事業計画の実現に向けて、従来の取組にとられない新たな視点や発想を取り入れながら、課題解決や改善に向けた方策について、「未来共創会議」等の場を活用して継続的に協議する
- ・計画の推進にあたっては、学校法人基本方針を踏まえ、取組の進捗を確認し、必要に応じて改善を図る

いじめ件数



令和8年度 事業計画 (学校名:高知学園大学)

(1)基本方針、重点目標、教育研究計画

☆学生数確保を最重要施策とし、2040年(18歳人口の急速減)に向けた改革事業を展開させる。

- ①学生数確保の推進
 - ・明確な目標数値の設定と常時の振り返りによる学生確保の推進
 - ・休退学防止に向けての全学的取り組みの実施
- ②高知県、高知市において必要とされる大学と認知されるための活動
 - ・梶原町、梶原高校とのAPプログラム事業の展開
 - ・梶原町、梶原高校以外の高知県内地域(とくに中山間地域)へのAPプログラム事業の拡張
 - ・高知県および県内市町村に対する本学の必要性アピールと個別具体的な包括連携の締結及び活動の実施
- ③認証評価への対応
 - ・全学をあげた認証評価への取り組み(令和8年度実施)
- ④教育内容の充実
 - ・高知県における本学の役割に相応しい学科内容への変換
 - ・3つのプロジェクト(防災、ラオス、IPE教育)の充実
 - ・FD、SD活動のさらなる活性化
- ⑤研究活動の活性化
 - ・研究倫理講習の受講率100%(令和8年度内)
- ⑥組織の強化と法人内連携
 - ・裁量労働制の実質化に向けた取り組み
 - ▷ 教員評価システム及び教員研究費査定システムの試行開始とブラッシュアップ
 - ・職員の評価システムの試行開始とブラッシュアップ
 - ・高知高校との高大連携の再構築
 - ▷ APプログラム事業実施に向けた検討および医療・健康系進学プログラムの見直し
 - ▷ 学内行事の共有等による教職員および学生・生徒の交流
 - ・大学内組織体制の見直し、および法人内他部門との連携
- ⑦教育資源の見直し
 - ・学生満足度の向上のための新たな学生組織の立ち上げ
 - ・校舎内施設(講義室ほか)等の使用目的や使用内容の見直し
 - ・図書館の充実および旧学生食堂の有効利用の検討
- ⑧2030年の大学・短大のあり方についての検討
 - ・リカレント教育

(2)入口戦略(学生募集)・学生募集の重点施策

- ①生徒の関心段階に応じた施策
 - ・関心未形成/関心形成途上/志望準備段階の各段階に応じた施策の実施
- ②県内高校との戦略的な関係構築を基盤とした施策
 - ・進路指導上の課題やニーズを踏まえた高校訪問、キーパーソンとの関係構築
 - ・ニーズに合わせた説明資料の整備、更新
- ③進路検討段階に応じたオープンキャンパス構成
 - ・オープンキャンパスを、高校生の進路検討段階に応じて進学の適否を確認する機会として位置づけ
 - ・学修内容、実習の負荷、学費・支援制度等について、進学後の生活を具体的にイメージできる情報提供
 - ・在学生との接点を通じて、授業や実習、学生生活の実際を伝え、進学判断の精度向上とミスマッチ防止
 - ・参加前のアンケートやLINE等を活用し、参加者の関心や疑問を把握した上での内容の改善
- ④媒体の役割整理とLINEを活用した継続的情報提供
 - ・大学案内、ホームページ、SNS等の役割を整理、進路検討段階に応じた情報を提供
 - ・LINE公式アカウントの活用による高校生との継続的な接点の確保と、進路検討段階に応じた情報の配信
 - ・授業の様子、学生の実感、入学後の姿等の段階的発信による進路理解の深化と離脱防止
- ⑤データに基づく学生募集施策の運用改善
 - ・仮説と指標に基づく振り返りの実施
 - ・検証結果を踏まえた情報発信や施策内容の見直し、次の募集施策への反映
 - ・これらの運用を通じた募集活動の質向上と安定的な学生数確保

(3)教育の充実

- ①時代に即した授業科目の検討
 - ・カリキュラムの見直し
 - ・ニーズに応じた教職課程の見直し
- ②本学の教育の特色である3つのプロジェクトの活動活性化
 - ・南海地震対策プロジェクトチーム
 - ・ラオスプロジェクトチーム
 - ・IPE 教育プロジェクトチーム

(4)出口戦略(進路指導)

- ①国家試験対策
 - ・全国平均以上の合格率を達成するための更なる分析
 - ・分析を踏まえた国家試験対策の実行及びそれに必要な事項への積極的援助
- ②就職希望者の全員就職
 - ・学科と事務職員の協働による学生一人ひとりが望む就職の実現
 - ・新たな就職先の開拓
- ③公務員等
 - ・公務員や教員希望の学生を対象とした受験講座の準備、実施
- ④進学
 - ・大学院への進学を実現させるため、他大学の大学院との提携の模索
 - ・既に提携している大学院へ学生を送り出すための紹介と指導

(5)その他(人事計画等)

- ①人事計画 ※(1)⑥に関連
 - ・大学で教育研究を行うに相応しい学位、業績のある教員を職位・年齢のバランスを考慮して配置
 - ・より機動的な事務局の体制の確立
- ②情報公開
 - ・地域に開かれた大学として必要な情報公開の更なる推進
- ③規程の整備
 - ・社会状況を踏まえた規程の見直しや新設
- ④ソフト面、ハード面の整備 ※(1)⑦に関連
 - ・Wi-Fi 環境の整備に伴うペーパーレス化へのより積極的な取り組みの実施
 - ・事務作業のICT化の促進
 - ・老朽化に伴う校舎の改修(8号館外壁ほか館内外塗装、トイレ整備、教室の机・椅子の整備 など)

令和8年度 事業計画 (学校名:高知学園短期大学)

(1)基本方針、重点目標、教育研究計画

☆学生数確保を最重要施策とし、2040年(18歳人口の急速減)に向けた改革事業を展開させる。

①学生数確保の推進

- ・明確な目標数値の設定と常時の振り返りによる学生確保の推進
- ・休退学防止に向けての全学的取り組みの実施

②高知県、高知市において必要とされる大学と認知されるための活動

- ・梶原町、梶原高校とのAPプログラム事業の展開
- ・梶原町、梶原高校以外の高知県内地域(とくに中山間地域)へのAPプログラム事業の拡張
- ・高知県および県内市町村に対する本学の必要性アピールと個別具体的な包括連携の締結及び活動の実施

③認証評価への対応

- ・全学をあげた認証評価への取り組み(令和8年度実施)

④教育内容の充実

- ・高知県における本学の役割に相応しい学科内容への変換
- ・3つのプロジェクト(防災、ラオス、IPE教育)の充実
- ・FD、SD活動のさらなる活性化

⑤研究活動の活性化

- ・研究倫理講習の受講率100%(令和8年度内)

⑥組織の強化と法人内連携

- ・裁量労働制の実質化に向けた取り組み
 - ▷ 教員評価システム及び教員研究費査定システムの試行開始とブラッシュアップ
- ・職員の評価システムの試行開始とブラッシュアップ
- ・高知高校との高大連携の再構築
 - ▷ APプログラム事業実施に向けた検討および医療・健康系進学プログラムの見直し
 - ▷ 学内行事の共有等による教職員および学生・生徒の交流
- ・大学内組織体制の見直し、および法人内他部門との連携

⑦教育資源の見直し

- ・学生満足度の向上のための新たな学生組織の立ち上げ
- ・校舎内施設(講義室ほか)等の使用目的や使用内容の見直し
- ・図書館の充実および旧学生食堂の有効利用の検討

⑧2030年の大学・短大のあり方についての検討

- ・リカレント教育

(2)入口戦略(学生募集)学生募集の重点施策

①生徒の関心段階に応じた施策

- ・関心未形成/関心形成途上/志望準備段階の各段階に応じた施策の実施

②県内高校との戦略的な関係構築を基盤とした施策

- ・進路指導上の課題やニーズを踏まえた高校訪問、キーパーソンとの関係構築
- ・ニーズに合わせた説明資料の整備、更新

③進路検討段階に応じたオープンキャンパス構成

- ・オープンキャンパスを、高校生の進路検討段階に応じて進学の適否を確認する機会として位置づけ
- ・学修内容、実習の負荷、学費・支援制度等について、進学後の生活を具体的にイメージできる情報提供
- ・在学生との接点を通じて、授業や実習、学生生活の実際を伝え、進学判断の精度向上とミスマッチ防止
- ・参加前のアンケートやLINE等を活用し、参加者の関心や疑問を把握した上での内容の改善

④媒体の役割整理とLINEを活用した継続的情報提供

- ・大学案内、ホームページ、SNS等の役割を整理、進路検討段階に応じた情報を提供
- ・LINE公式アカウントの活用による高校生との継続的な接点の確保と、進路検討段階に応じた情報の配信
- ・授業の様子、学生の実感、入学後の姿等の段階的発信による進路理解の深化と離脱防止

⑤データに基づく学生募集施策の運用改善

- ・仮説と指標に基づく振り返りの実施
- ・検証結果を踏まえた情報発信や施策内容の見直し、次の募集施策への反映
- ・これらの運用を通じた募集活動の質向上と安定的な学生数確保

(3)教育の充実

- ①時代に即した授業科目の検討
 - ・カリキュラムの見直し
 - ・ニーズに応じた教職課程の見直し
- ②本学の教育の特色である3つのプロジェクトの活動活性化
 - ・南海地震対策プロジェクトチーム
 - ・ラオスプロジェクトチーム
 - ・IPE 教育プロジェクトチーム
- ③四年制大学との連携の強化
 - ・卒業後の進路としての四年制大学への編入学について、新たに提携できる大学との協議

(4)出口戦略(進路指導)

- ①国家試験対策
 - ・全国平均以上の合格率を達成するための更なる分析
 - ・分析を踏まえた国家試験対策の実行及びそれに必要な事項への積極的援助
- ②就職希望者の全員就職
 - ・学科と事務職員の協働による学生一人ひとりが望む就職の実現
 - ・新たな就職先の開拓
- ③公務員等
 - ・公務員や教員希望の学生を対象とした受験講座の準備、実施
- ④進学
 - ・本学専攻科についての入学時から複数回にわたる説明の実施
 - ・編入学協定先の大学についての入学時からの紹介と編入学説明の実施(大阪総合保育大学)
 - ・大学への編入学実現のための他大学との提携

(5)その他(人事計画等)

- ①人事計画 ※(1)⑥に関連
 - ・大学で教育研究を行うに相応しい学位、業績のある教員を職位・年齢のバランスを考慮して配置
 - ・より機動的な事務局の体制の確立
- ②情報公開
 - ・地域に開かれた大学として必要な情報公開の更なる推進
- ③規程の整備
 - ・社会状況を踏まえた規程の見直しや新設
- ④ソフト面、ハード面の整備 ※(1)⑦に関連
 - ・Wi-Fi 環境の整備に伴うペーパーレス化へのより積極的な取り組みの実施
 - ・事務作業のICT化の促進
 - ・老朽化に伴う校舎の改修(8号館外壁ほか館内外塗装、トイレ整備、教室の机・椅子の整備 など)

令和8年度事業計画について

高知学園大学
高知学園短期大学

国の動向 (私立大学振興) <ul style="list-style-type: none"> 地域から必要とされるエッセンシャルワーカー等人材育成を担う地方大学の重点支援 研究力強化 規模の適正化に向けた私立大学の経営改革強化 	本学の現状 <ul style="list-style-type: none"> 入学者の県内割合(令和7年度入学生) 大学 96.1%、短大 98.7% 県内への就職割合(令和6年度卒業生) 大学 78.9%、短大 76.6% 定員充足率 大学 59.2%、短大 82.8%
---	--

※ 高知学園大学・高知学園短期大学は高知県にとって必要な大学



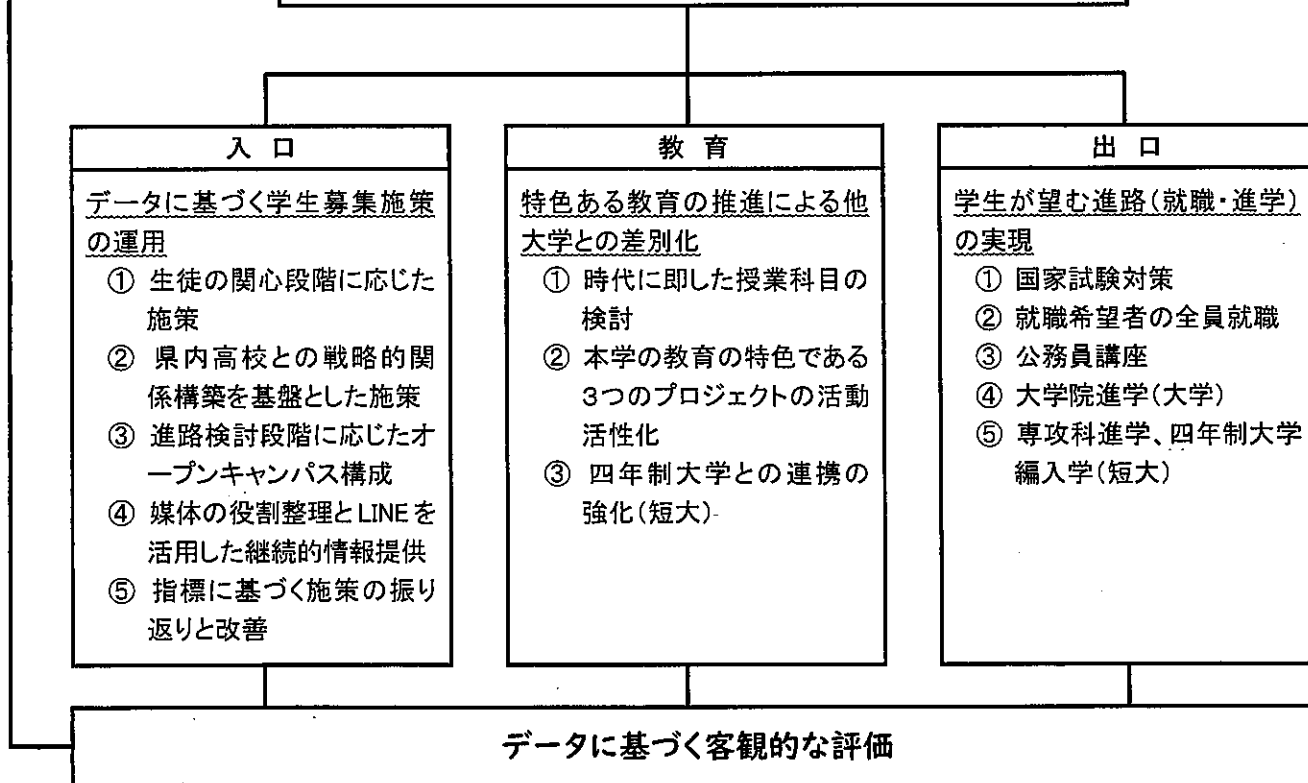
経営方針:地域に根差したエッセンシャルワーカーの養成と持続可能な経営



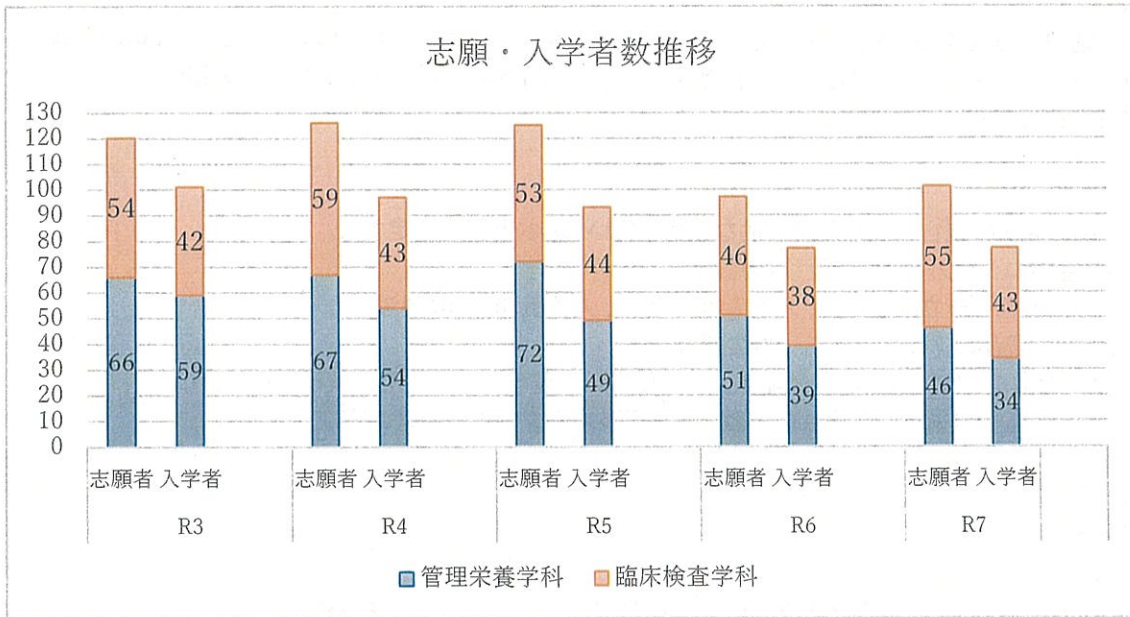
令和8年度

基本方針・重点目標

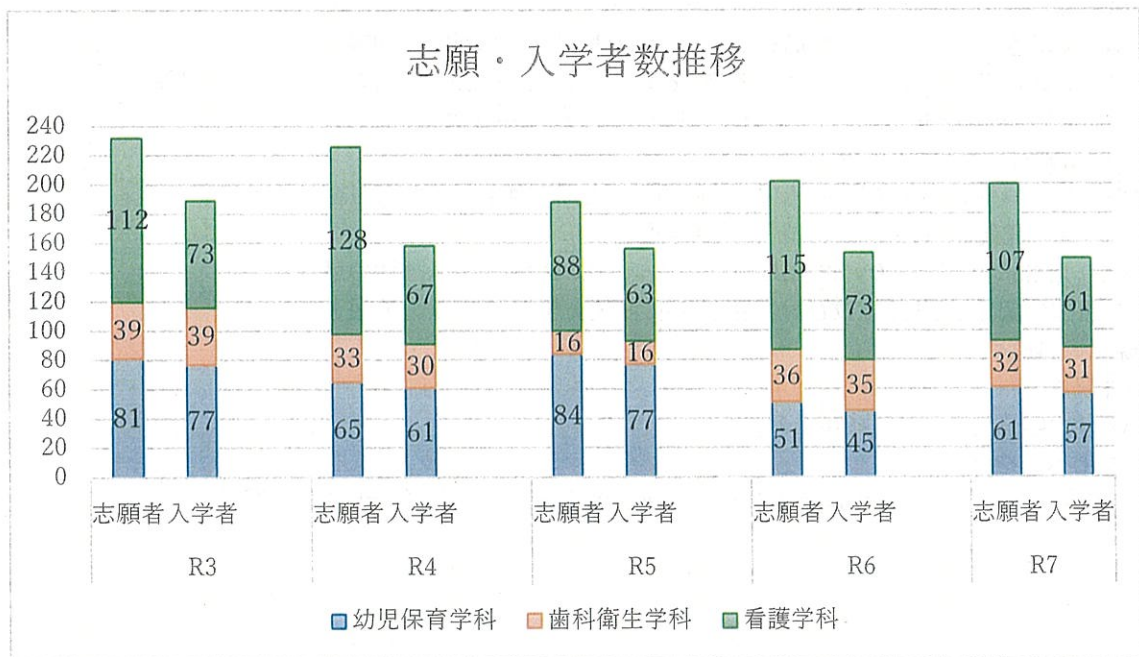
- ① 学生数確保の推進
- ② 高知県、市町村において必要とされる大学と認知されるための活動
- ③ 認証評価への対応
- ④ 教育内容の充実
- ⑤ 研究活動の活性化
- ⑥ 組織の強化と法人内連携
- ⑦ 教育資源の見直し
- ⑧ 2030年の大学・短大のあり方についての検討



高知学園大学 志願者・入学者推移



高知学園短期大学 志願者・入学者推移



令和8年度 事業計画（高知リハビリテーション専門職大学）

(1)基本方針、重点目標、教育研究計画

(基本方針)

- 高知学園の建学の精神「至誠をもって事にあたり、人や社会に信頼される人物の育成」を教育の基本とし、実践的な知識と技術を養い、多様な分野で多職種と連携・協働し将来を切り開いていける国際的な理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を育成する。

(重点目標)

- 高知学園大学との統合に向けた具体的な検討を行い、基本方針を決定する。
 - ・統合推進プロジェクトチーム(仮称)の設置
- 適切な財務運営を確立するため、入学者数の確保、人件費・経費の削減に取り組む。
 - ・入学者数の確保:プロジェクトチームの設置
 - ・人件費・経費の削減:適正な人員配置、非常勤講師の整理、実習費用の積極的な見直し
- 職業教育:知識や技術を備え社会に貢献できる実践能力を有する人材の育成

(教育研究計画)

①職業教育

○人間教育

- ・豊かな人間性の形成、科学的思考力、問題解決能力、主体的学修力を高める

○実践的知識・実践的技術の修得

- ・「理論-演習-実践-統合」のプロセスにおいて臨床現場での実践を重視

○地域貢献

- ・地域住民の健康寿命の延伸や健康増進、三つのサポートセンターの取組

○学生のアクティブラーニング(能動的学修)を促す手法や少人数による教育(チューター制度)

○入学時より学修ポートフォリオを導入し学生個々の学修指導を実施

②教員の研鑽・研究活動の促進

○専任教員に科研費申請を奨励、個人・共同研究など研究活動啓発に取り組む

○学内学会を開催し、研究水準の維持・向上を図る

○FD・SD 活動による教員の資質向上、ガバナンス・コンプライアンス意識の醸成

○職能団体が認定する「認定及び専門療法士」、関連分野の資格取得の促進

③国際化の推進

○海外研修

- ・ハワイ大学等での研修、姉妹校の締結

○国際化への取組

- ・ベトナム、オーストラリア、中国等海外の大学との関係を深め、関連校としての連携

(2) 入口戦略(学生募集)

○募集活動プロジェクトチームによる活動促進

①学校訪問

○公立・私立学校、進学・実業校、大規模・小規模校それぞれの学校に応じた募集活動を行うとともに学校見学の機会を増やす

②進学ガイダンス

○関西・中国地方など範囲を広げ、有効なガイダンスには積極的に参加する

③オープンキャンパス、出張オープンキャンパス

○オープンキャンパスの実施回数を増やすとともに、プログラムの見直しを行うなど充実を図る

○県内主要地域において、出張オープンキャンパスを実施する

○webオープンキャンパスの随時実施

④入試説明会(学園大学・短期大学との同時開催)

○入試説明会を高知市内や幡多・安芸方面でも開催する

⑤高校教員対象説明会

○進路担当教員を招いた入試説明会の開催や校長会での説明、四国3県でも計画的に説明会を行う

⑥オンラインによる個別相談会等の実施

○PC、スマートフォン等を利用したオンラインによる個別相談会・入試説明会を実施

⑦高知高校との連携の見直し(医療・健康系進学プログラムの見直し)

⑧広報活動

○SNSを活用した取組の強化、個々にLINEでつながる仕組みの強化

○職業体験フェスタの開催

○スポンサー契約による広報活動の強化

(3) 出口戦略(進路指導)

①国家試験対策

○各専攻での国家試験合格率100%を目指し、学生の受験準備を支援する

・過去の出題問題などの学習の徹底や模擬試験の実施

・成績下位者に対する就学支援教員によるサポート

・スクールバスの運行、図書館の休日・夜間開館などの環境整備

②進路選択・キャリア形成に関する支援

○就職相談室の充実による幅広い分野での就職先の開拓、大学院進学や海外への留学・就職等、進路選択の可能性を支援・拡大

○マナー講習、履歴書セミナー、対面やオンラインでの就職合同説明会の実施

(4) その他(人事計画等)

①第2期中期目標・中期計画に基づく取組、PDCAサイクルによる見直し

②適切な財務運営の確立に向けた具体的な取組

・定員数の削減による見直し(教員数、授業計画など)

・教職員配置の適正化、人事評価制度の検討

・教育研究費・管理経費の積極的な見直し

③内部質保証体制の確立

・機関別認証評価の受審に伴う自己点検・評価の検証等により、内部質保証体制の確立に取り組み、教育研究活動の充実や経営改革の取組に活かしていく

令和8年度 事業計画参考資料（高知リハビリテーション専門職大学）

○参考資料

(1)入口の状況(新入生)

区分	定員	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
理学	70	61	52	91	80	77	70	54	52	52	49
作業	40	22	20	22	23	24	20	16	15	33	29
言語	40	26	23	22	19	22	20	23	21	21	21
合計	150	109	95	135	122	123	110	93	88	106	99

(2)出口の状況(令和3年度までは、高知リハビリテーション学院)

①国家試験の状況

※()は全国平均

区分	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
理学	57	48	84% (88%)	43	43	100% (87%)	64	58	90.6% (95%)	46	41	89.1% (90%)
作業	30	26	87% (88%)	24	23	96% (84%)	29	23	79.3% (91%)	20	20	100% (86%)
言語	15	8	53% (75%)	21	20	95% (67%)	26	23	88.5% (72.4)	18	17	94.4% (73%)

②就職の状況(就職希望者)(令和7年3月末現在)

	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	就職希望者			就職希望者			就職希望者			就職希望者		
	総 数	就職先内定		総 数	就職先内定		総 数	就職内定先		総 数	就職内定先	
県内		県外	県内		県外	県内		県外	県内		県外	
理学	51	15	36	42	14	28	57	21	36	41	18	23
作業	29	19	10	23	15	8	27	12	15	20	8	12
言語	12	9	3	20	14	6	25	11	14	17	8	9

(3)本務教職員数の状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
教員	37	37	33	32	31	27
職員	12	14	13	12	11	11
合計	49	51	46	44	42	38

